# 令和3年度

笠岡市水道事業決算報告書

笠岡市上下水道部

## 目 次

### 決算書類

第 1	笠岡市水道事業会計決算書類	
1	令和3年度笠岡市水道事業決算報告書	1
2	令和3年度笠岡市水道事業損益計算書	6
3	令和3年度笠岡市水道事業剰余金計算書	7
4	令和3年度笠岡市水道事業剰余金処分計算書	7
5	令和3年度笠岡市水道事業貸借対照表	9
6	注記	11
決算	附属書類	
第2	笠岡市水道事業報告書	
1	概況	12
2	工事	15
3	業務	19
4	会計	25
第3	笠岡市水道事業会計決算附属書	
1	令和3年度笠岡市水道事業キャッシュ・フロー計算書	28
2	収益費用明細書	29
3	資本的収入•支出明細書	39
4	固定資産明細書	41
5	企業債明細書	49

第 1 笠 岡 市 水 道 事 業 会 計 決 算 書 類

## 1 令和3年度 笠岡市

### (1) 収益的収入及び支出

収 入

		予	算	
区分	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出 額に係る財源充当額	
	円	円	円	
第1款 水道事業収益	1,354,580,000	26,460,000	0	
第1項 営業収益	1,207,580,000	10,440,000	0	
第2項 営業外収益	146,800,000	16,020,000	0	
第3項 特別利益	200,000	0	0	

支 出

						予						算			
												地方位			
区	分	当	初	補		正	予	備	費	流	用	企業活			
	73											24条領		小	計
		予	算 額	予	算	額	支	出	額	増	減 額	によ			
			_									支 出			
			円			円			円		F,		円		円
第1款 水流	道事業費用	1,20	6,810,000	4	2,35	50,000			0		(	)	0	1,249	9,160,000
第1項 常	営業費用	1,18	8,210,000	2	29,02	20,000			0		(	)	0	1,217	7,230,000
第2項 営	営業外費用	1	3,400,000	1	3,13	30,000			0		(	)	0	26	5,530,000
第3項 特	寺別損失		200,000		20	00,000			0		(	)	0		400,000
第4項	予備費	,	5,000,000			0			0		(	)	0	Ę	5,000,000

<sup>(</sup>注) 営業外収益のうち,消費税及び地方消費税還付予定額は,2,197,200円である。

## 水道事業決算報告書

額							
合	計	決	算	額	予算額に比べ決算額の増減	備考	
	円			円	円		
	1,381,040,000		1,382,	148,430	1,108,430	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 110,115,095円)	
	1,218,020,000		1,215,	980,942	△ 2,039,058	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 109,909,517円)	
	162,820,000		166,	127,892	3,307,892	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 202,042円)	
	200,000			39,596	△ 160,404	(うち, 仮受消費税及び地方消費税 3,536円)	

額					
地方公営企 業法第26条 第2項の規定 による繰越額	合 計		地方公営 全名条第2 項の規定に よる繰越額	不用額	備   考
円	円	円	円	円	
0	1,249,160,000	1,165,593,884	0	83,566,116	(うち, 仮払消費税及び地方消費 税66,378,058円)
0	1,217,230,000	1,161,708,456	0	55,521,544	(うち, 仮払消費税及び地方消費 税66,346,438円)
0	26,530,000	3,500,026	0	23,029,974	
0	400,000	385,402	0	14,598	(うち, 仮払消費税及び地方消費 税31,620円)
0	5,000,000	0	0	5,000,000	

### (2) 資本的収入及び支出

収 入

		予	算		
				地方公営企業法	
区 分	当初予算額	補正予算額	小 計	第26条の規定に	
	ヨ 彻 丁 昇 額		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	よる繰越額に係	
				る財源充当額	
	円	円	円	円	
第1款 資本的収入	635,820,000	76,650,000	712,470,000	14,900,000	
第1項 企業債	400,000,000	0	400,000,000		
第2項 国庫補助金	83,730,000	77,370,000	161,100,000		
第3項 他会計からの 出 資 金	20,670,000	△ 790,000	19,880,000		
第4項 工事負担金	131,320,000	70,000	131,390,000	14,900,000	
第5項 固定資産 売却代金	100,000	0	100,000		

支 出

		予		算	額		
						地方公営	
区	分	当 初	補 正	流 用		企業法第	継続費
	),				小 計	26条の規	逓 次
		予 算 額	予 算 額	増減額		定による	繰越額
						繰越額	
		円	円	円	円	円	円
第1款 資	資本的支出	1,592,590,000	△ 20,740,000	0	1,571,850,000	60,500,000	0
第1項	建設改良費	1,463,590,000	△ 20,730,000	0	1,442,860,000	60,500,000	0
第2項	企業債償還金	24,000,000	△ 10,000	0	23,990,000	0	0
第3項	投 資	100,000,000	0	0	100,000,000	0	0
	予 備 費	5,000,000		0	5,000,000		0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額393,871,510円は,当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整58,031,664円で補てんした。

たな卸資産購入限度額の予算額21,880,000円に対して、決算額は10,159,413円である(うち、仮払消費税及び地

額								
継続費逓次					予算額に比べ			
繰越額に係る	合 i	計	決 算	額		1	莆	考
財源充当額	Н Н	11			決算額の増減			
				m	m			
円		円		円	円			
0	727,3	370,000	368,2	46,670	△ 359,123,330	(うち, 仮受? 2,030,530円		び地方消費税
0	400,0	000,000	148,0	00,000	△ 252,000,000			
0	161,1	100,000	161,1	03,000	3,000			
0	19,8	880,000	14,9	15,373	△ 4,964,627			
0	146,2	290,000	44,1	73,863	△ 102,116,137	(うち, 仮受? 2,030,530円	消費税及  )	び地方消費税
0	1	100,000		54,434	△ 45,566			

		翌年度繰越額				
		地方公営				
	決 算 額	企業法第	継続費		不用額	 
合 計	0	26条の規	逓 次	合 計	1 /11 458	Vita 5
		定による	繰越額			
		繰越額				
円	円	円	円	円	円	
1,632,350,000	762,118,180	644,220,000	0	644,220,000	226,011,820	(うち, 仮払消費税及び地方 消費税64,870,376円)
1,503,360,000	738,129,304	644,220,000	0	644,220,000	121,010,696	(うち, 仮払消費税及び地方 消費税64,870,376円)
23,990,000	23,988,876	0	0	0	1,124	
100,000,000	0	0	0	0	100,000,000	
5,000,000	0	0	0	0	5,000,000	

額62,839,846円,減債積立金23,000,000円,建設改良積立金250,000,000円,過年度分損益勘定留保資金 方消費税923,583円。)。

## 不課税収入及び特定収入の使途について

#### (1) 収益的収入

特定収入の判定を要する収入

他会計補助金2,127,446円については、以下のとおり充当しました。 企業債利子償還金・・・・・・・1,423,446円(特定収入以外) 児童手当に係る経費負担分・・・・ 704,000円(特定収入以外)

他会計負担金5,112,263円については,以下のとおり充当しました。 消火栓修繕費・・・・・・・・1,444,400円(特定収入) 人件費・・・・・・・・・・・・・3,667,863円(特定収入以外)

営業雑収益1,689,055円については、以下のとおり充当しました。 人件費・・・・・・・・・・・・1,689,055円(特定収入以外)

営業外雑収益12,816,309円については、以下のとおり充当しました。 給配水施設修繕費・・・・・・ 12,586,015円 (特定収入) 人件費・・・・・・・・・・・・ 230,294円 (特定収入以外)

### (2) 資本的収入

特定収入の判定を要する収入

- 工事負担金21,838,033円については,以下のとおり充当しました。 配水管布設替事業費・・・・・ 21,838,033円(特定収入)
- 国庫補助金161,103,000円については、以下のとおり充当しました。 配水管布設替事業費・・・・ 161,103,000円(特定収入)

## 2 令和3年度 笠岡市水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	1, 069, 680, 580		
(2) その他の営業収益	36, 390, 845	1, 106, 071, 425	
2 営業費用			
(1) 原水費	515, 853, 600		
(2) 配水及び給水費	165, 379, 705		
(3) 総係費	116, 341, 980		
(4) 減価償却費	287, 074, 004		
(5) 資産減耗費	10, 712, 729	1, 095, 362, 018	
営 業 利 益			10, 709, 407
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	229, 025		
(2) 他会計補助金	2, 127, 446		
(3) 長期前受金戻入	147, 513, 719		
(4) 雑収益	30, 701, 387	180, 571, 577	
	<del></del>		
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び			
企業債取扱諸費	3, 500, 026		
(2) 雑支出 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	20, 025, 764	23, 525, 790	157, 045, 787
経常利益			167, 755, 194
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	36, 060	36, 060	
		,	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	351, 782		
(2) その他特別損失	2,000	353, 782	△ 317, 722
	<u> </u>		<u> </u>
当年度純利益			167, 437, 472
前年度繰越利益剰余金			△ 107, 063, 745
目的充当済み未処分利益	剰余金		273, 000, 000
当年度未処分利益剰余金	•		333, 373, 727

## 3 令和3年度笠岡市水道

					剰		
			資 本 金		資本剰	割余金	
			, , <u> </u>	受贈財産 評価額	補助金	工事負担金	資本剰余 金合計
前	年	度末残高	4,118,487,593	132,570,965	34,207,459	484,929,140	651,707,564
前	年	度処分額	176,000,000	0	0	0	0
	静	<b>え</b> 会の議決による処分額	176,000,000	0	0	0	0
		減債積立金の積立	0	0	0	0	0
		建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0
		自己資本金へ組入	176,000,000	0	0	0	0
処	分	後残高(△は欠損金)	4,294,487,593	132,570,965	34,207,459	484,929,140	651,707,564
当	年	度変動額	14,915,373	0	0	0	0
	他	1会計からの出資金の受入	14,915,373	0	0	0	0
	企	業債の償還・建設改良費に充当	0	0	0	0	0
	受	<b>党贈財産の受入</b>	0	0	0	0	0
	補	前助金の受入	0	0	0	0	0
	I	工事負担金の受入	0	0	0	0	0
	絼	<b>幹延収益へ振替</b>	0				
	弄	6年度純利益(△は損失)	0	0	0	0	0
当	年	度末残高	4,309,402,966	132,570,965	34,207,459	484,929,140	651,707,564

## 4 令和3年度笠岡市水道事業剰余金処分計算書(案)

(単位・円)

				(単位:円)	
		資 本 金	資本剰余金	未処分利益 剰余金	
当	年度末残高	4,309,402,966	651,707,564	333,373,727	
議	会の議決による処分額	)議決による処分額 273,000,000			
	減債積立金の積立				
	建設改良積立金の積立				
	自己資本金へ組入	273,000,000		△ 273,000,000	
処	分後残高	4,582,402,966	651,707,564	(繰越利益剰余金) 60,373,727	

## 事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位:円)

	( 1) TO THE	: 万1日かり77年41年	上971.91日 やく)	(半世. 口)		
余						
	利 益 剰 余 金					
減債 積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余 金合計	資本合計		
174,000,000	540,000,000	68,936,255	782,936,255	5,553,131,412		
0	0	△ 176,000,000	△ 176,000,000	0		
0	0	△ 176,000,000	△ 176,000,000	0		
0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0		
0	0	△ 176,000,000	△ 176,000,000	0		
174,000,000	540,000,000	(繰越欠損金) △ 107,063,745	606,936,255	5,553,131,412		
△ 23,000,000	△ 250,000,000	440,437,472	167,437,472	182,352,845		
0	0	0	0	14,915,373		
△ 23,000,000	△ 250,000,000	273,000,000	0	0		
0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0		
0	0	167,437,472	167,437,472	167,437,472		
		(当年度未処分利益 剰余金)				
151,000,000	290,000,000	333,373,727	774,373,727	5,735,484,257		

## 5 令和3年度 笠岡市水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位:円)

### 資 産 の 部

1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産				
イ土 地		428,004,568		
口建物	646,100,331			
減価償却累計額	△ 286,286,987	359,813,344		
ハ構築物	14,718,557,611			
減価償却累計額	△ 8,628,355,481	6,090,202,130		
ニ機 械 及 び 装 置	1,241,386,624			
減価償却累計額	△ 979,269,994	262,116,630		
ホ車両及び運搬具	18,373,410			
減価償却累計額	△ 15,932,374	2,441,036		
へ工具器具及び備品	16,531,260			
減価償却累計額	△ 15,307,589	1,223,671		
ト 量 水 器	117,695,639			
減価償却累計額	$\triangle$ 43,502,956	74,192,683		
チ建 設 仮 勘 定		320,270,000		
有形固定資産合計			7,538,264,062	
(2) 無 形 固 定 資 産				
イ施 設 利 用 権		305,507,368		
ロソフトウェア		0		
無形固定資産合計			305,507,368	
(3) 投 資				
イ長 期 貸 付 金		0		
投 資 合 計			0	
固定資産合計				7,843,771,430
2 流 動 資 産				
			1.592.426.245	
貸倒引当金			△ 1,813,662	
(3) 貯 蔵 品			10,521,691	
(4) 前 払 金			24,912,578	
流動資産合計				2,201,510,899
資 産 合 計				10,045,282,329
は機減車減工減量減建 無施ソ 投長 流 現未貸貯前額 関 領 異 関 異 が 累 運 累 び 累 運 累 び 累 運 累 び 累 運 累 び 累 異 関 産 産 付 合 産 産 預 当 合 資 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	$\triangle$ 8,628,355,481  1,241,386,624 $\triangle$ 979,269,994  18,373,410 $\triangle$ 15,932,374  16,531,260 $\triangle$ 15,307,589  117,695,639 $\triangle$ 43,502,956	262,116,630 2,441,036 1,223,671 74,192,683 320,270,000 305,507,368 0	$305,507,368$ $0$ $1,592,426,245$ $575,464,047$ $\triangle 1,813,662$ $10,521,691$	2,201,510,899

### 負債の部

	負 負	責	の	部		
3 固 定 負 債						
(1) 企 業 債						
	よの人光体		227	7 572 200	337,572,290	
イ 建設改良等の財源に充てるたる	の企業頃		331	7,572,290	331,312,290	
(2) 引 当 金						
イ退職給付引当金			91	,696,887	91,696,887	
固定負債合計						429,269,177
4 流 動 負 債						
(1) 企 業 債						
イ 1年内に償還予定の建設改良等の財源に	充てるための企業債		28	3,159,463	28,159,463	
(2) 未 払 金				<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	455,800,680	
(3) 引 当 金					100,000,000	
			-	. 540,000	0.540.000	
イ賞 与 等 引 当 金				9,540,000	9,540,000	
(4) その他流動負債					97,392,302	
流 動 負 債 合 計						590,892,445
- /II /- V						
5 繰 延 収 益						
(1) 長 期 前 受 金						
イ受贈財産評価額			1,306	5,593,360		
口補助金			1,925	5,353,851		
ハエ 事 負 担 金			4.848	3,344,384	8,080,291,595	
(2) 長期前受金収益化累計額				,	0,000,201,000	
イ 受 贈 財 産 評 価 額			A 956	5,603,008		
		^				
口補 助 金				2,528,347	A 4 =00 0== 4.4=	
ハエ 事 負 担 金			2,501	1,523,790	$\triangle$ 4,790,655,145	
繰延収益合計						3,289,636,450
負 債 合 計						4,309,798,072
	V&-		_	t.m.		
	資	<b>K</b>	の	部		
6 資 本 金						
(1) 自 己 資 本 金						
イ固 有 資 本 金				1,706,603		
口組 入 資 本 金			3,249	9,396,946		
ハ繰入資本金			1,045	5,299,417	4,309,402,966	
資 本 金 合 計						4,309,402,966
7 剰 余 金						
(1) 資 本 剰 余 金						
イ受贈財産評価額			132	2,570,965		
口補 助 金				1,207,459		
ハエ事負担金				1,929,140	651,707,564	
			101	1,323,140	001,101,001	
イ減 債 積 立 金				,000,000		
口建設改良積立金			290	0,000,000		
ハ 当年度未処分利益剰余金						
当 年 度 純 利 益	167,437,472					
前年度繰越利益剰余金	$\triangle 107,063,745$					
目的充当済み未処分利益剰余金	273,000,000		333	3,373,727	774,373,727	
剰 余 金 合 計			300	, 5,. 2,	2,5 . 5,1 21	1,426,081,291
資本合計						5,735,484,257
負債資本合計		10	`			10,045,282,329

### 6 注 記

- I 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法 移動平均法による原価法とする。
  - 2 固定資産の減価償却の方法
    - (1) 有形固定資産 定額法による。ただし、量水器は取替法による。
    - (2)無形固定資産 定額法による。
  - 3 引当金の計上方法
    - (1)退職給付引当金 簡便法による。

職員の退職手当に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、退職給付引当金は水道事業会計の在職期間で 算出し、一般会計が負担する金額を控除した金額を計上している。

(2) 賞与等引当金

職員の期末手当・勤勉手当及び賞与月の法定福利費の支払いに備えるため、 当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額(12月から 3月までの4か月分)を計上している。

(3)貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、債権を「一般債権」「貸倒懸念債権」に区分し、貸倒実績率等により合理的に算定した回収不能見込額を計上している。

- 4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。
- Ⅱ キャッシュフロー計算書関連
  - 1 資金の範囲等

資金の範囲は、貸借対照表における「現金・預金」と同一としている。

2 重要な非資金取引

受贈による配水管等の取得 構築物 10,864,000円

- Ⅲ 貸借対照表関連
  - 1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当年度の末日の翌日から起算して1年 以内に償還予定のものも含む)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、 38,522,148円である。

- 2 引当金の取崩し
  - (1) 退職給付引当金の積立及び取崩し

積 立 額 当年度の負担に属する額 5,054,000円 取 崩 額 退職手当として支給した額 16,902,166円

(2) 賞与等引当金の積立及び取崩し

積 立 額 当年度の負担に属する額 9,540,000円 取 崩 額 前年度末に積み立てた額 8,842,000円

(3)貸倒引当金の取崩し

積 立 額 当年度の負担に属する額 1,040,000円 取 崩 額 回収不能金に充てた額 587,386円

IV セグメント情報に関する注記

単一セグメントであるため、記載を省略している。

第 2 笠岡市水道事業報告書

### 令和3年度 笠岡市水道事業報告書

#### 1 概況

#### (1) 総括事項

#### ア 業務量について

本年度における給水戸数は、21,593戸で前年度に比べ118戸減少、給水人口は45,540人で、前年度に比べ875人減少し、行政区域内人口に対する普及率は99.0%となりました。配水量は、5,155,845㎡で前年度に比べ1,927㎡( $\triangle$ 0.04%)減少し、有収水量は4,621,350㎡で、前年度に比べ28,517㎡( $\triangle$ 0.61%)減少となりました。また、有収率は89.6%で、前年度に比べ0.6ポイント低下しました。

収益的収入は1,286,679千円で,前年度に比べ214,742千円の増収となりました。前年度はコロナ対策として基本料金231,780千円を免除したため,給水収益が減少しています。収益の内訳としては、以下のとおりです。

#### (営業収益)

経営成績について

(   )   (   )   (   )			
給水収益	1,069,680 千円	(	228,717千円 増)
その他の営業収益	36,391 千円	(	2,412千円 減)
(営業外収益)			
受取利息及び配当金	229 千円	(	355千円 減)
他会計補助金	2,127 千円	(	4,167千円 減)
長期前受金戻入	147,514 千円	(	2,909千円 減)
雑収益	30,701 千円	(	3,047千円 減)
(特別利益)			
過年度損益修正益	36 千円	(	436千円 減)
その他特別利益	0 千円	(	皆減 )

収益的支出は、1,119,242千円で、前年度に比べ60,322千円減少しました。 費用の内訳としては、以下のとおりです。

#### (営業費用)

原水費	515,853 千円	(	219千円 減)
配水及び給水費	165,380 千円	(	23,527千円減)
総係費	116,342 千円	(	6,630千円 増)
減価償却費	287,074 千円	(	149千円 減)
資産減耗費	10,713 千円	(	4,836千円減)
(営業外費用)			
企業債支払利息	3,500 千円	(	254千円 減)
雑支出	20,026 千円	(	2,806千円 増)
(特別損失)			
過年度損益修正損	352 千円	(	40,823千円減)
その他特別損失	2 千円	(	皆増 )

以上の結果、収益的収支において、167,437千円の当年度純利益を計上することとなりました。

#### ウ 建設改良工事について

本年度は主な建設改良工事として、老朽配水管布設替、市道改良工事等に伴う配水管布設替工事を実施し、計3,769.3mの資産を取得しました。

また、ポンプ・水位計等の機械及び装置の改良設置工事を行いました。

#### (2) 経営指標に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比20.93ポイント増の114.99%となり、健全経営の水準とされる100%を上回っています。また、料金水準の妥当性を示す回収率は、前年度比25.00ポイント増の110.12%となり、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を上回っています。令和2年度の経常収支比率と料金回収率が低いのは、新型コロナウイルス感染症対策として全契約者に対して水道基本料金の免除を6か月間行った影響です。

一方,償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比0.44ポイント減の59.48%,法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比5.77ポイント増の56.06%と施設の老朽化が進んでいるのに対して,当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比0.29ポイント減の0.72%となりました。これは,令和3年度に着工した海底送水管(北木島~小飛島間)の布設替工事が令和4年度に完成予定のため,令和3年度の管路更新延長に含まれていないためです。

今後も安心・安全な水道水を安定供給するという水道サービスの持続性を確実なものとし、 笠岡市水道事業の基本理念「市民のための水道を未来へ」に基づいて事業を行ってまいります。

#### 経営指標の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支比率	111. 73	109.08	114. 86	94.06	114. 99
料金回収率	108. 47	106. 07	108.38	85. 12	110. 12
有形固定資産減価償却率	59. 93	60.89	60.30	59.92	59. 48
管路経年化率	31. 30	45. 35	37. 83	50. 29	56.06
管路更新率	0. 76	0.39	1.08	1.01	0.72

#### (3) 議会議決事項

議案番号	件	名	提出年月日	議決年月日	備考
			令和	令和	
議案第57号	令和2年度笠岡市水 金処分及び決算認定		3. 8. 31	3. 12. 24	議決及び 認定
議案第8号	令和3年度笠岡市水 算(第1号)	道事業会計補正予	4. 2. 22	4. 3. 10	
議案第19号	令和4年度笠岡市水	道事業会計予算	4. 2. 22	4. 3. 24	

第 3 笠 岡 市 水 道 事 業 会 計 決 算 附 属 書

## 1 令和3年度 笠岡市水道事業キャッシュ・フロー計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

### 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益(△は純損失)	167,437,472
減価償却費	287,074,004
固定資産除却費等	9,560,157
貸倒引当金の増減額(△は減少)	452,614
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 11,848,166
賞与等引当金の増減額(△は減少)	698,000
長期前受金戻入額	$\triangle 147,513,719$
受取利息	△ 229,025
支払利息	3,500,026
未収金の増減額(△は増加)	18,870,327
貯蔵品の増減額(△は増加)	1,153,996
前払金の増減額(△は増加)	$\triangle$ 10,399,890
未払金の増減額(△は減少)	34,256,994
その他流動負債の増減額(△は減少)	7,952,077
小計	360,964,867
利息の受取額	229,025
利息の支払額	△ 3,500,026
業務活動によるキャッシュ・フロー	357,693,866

#### 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出	$\triangle$ 673,258,928
資本勘定支弁職員分の引当金の増加額(△は増加)	△ 358,000
固定資産の取得の財源に充てるための一般会計等からの負担金による収入	42,143,333
固定資産の取得の財源に充てるための一般会計からの出資金による収入	3,000,000
固定資産の取得の財源に充てるための国庫補助金による収入	146,457,273
固定資産の売却による収入	54,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 481,961,888

### 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債の発行による収入	149 000 000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	$148,000,000$ $\triangle 23,988,876$
企業債償還の財源に充てるための一般会計からの出資金による収入	11,915,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,926,497
資金増加額	11,658,475
資金期首残高	1,580,767,770
資金期末残高	1,592,426,245